

平成29年6月社会教育委員会議全体会 議事録

日時：平成29年6月30日（金）午後4時～5時15分

場所：さんくす3番館 4階 大会議室

小西課長：定刻になりましたので、6月社会教育委員会議を始めさせていただきます。本日は、議長の任期が5月31日で満了しており、新しい議長が決まりますまで、事務局の方で進行させていただきますので、よろしく願いいたします。本日の出席委員は8名で委員数12名の過半数を超えておりますので、吹田市社会教育委員会議規則第3条第6項の規定により本会議は成立していることをご報告いたします。お手元の資料を確認させていただきます。

－ 資料確認 －

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。次第1の新任委員の紹介でございます。6月に、委嘱させていただきました新任委員のご紹介をさせていただきます。佐井寺中学校の校長先生で、吹田市立学校校長会からご推薦いただきました、田中 万尋様でございます。一言自己紹介をお願いいたします。

田中委員：－ 挨拶 －

小西課長：次に、再任の方々ですが、お名前だけご紹介させていただきます。府立高等学校からの代表で、渡邊 健一様。吹田市青少年指導員会から、川上 光男様。吹田市PTA協議会から、田中 勲様。大阪大学大学院人間科学研究科から岡田 千あき様。大阪学院大学経済学部から、松尾 信之介様。学識経験者として、前社会体育リーダー協議会の山本 政子様です。よろしく願いいたします。

続きまして、次第の2議長・副議長の選出に移らせていただきます。昨年、正式の手続きに基づきまして、永井議長、川上副議長、広瀬副議長を専任させていただきました。これまで、2年に一度、専任手続きをさせていただいておりましたが、資料3ページにあります、吹田市社会教育委員会議規則第3条第4項で、任期は1年とするという規定がございます。これまで、慣例で、議長、副議長につきましては、引き続きお願いしておりました。引き続き、議長に永井委員、副議長に川上委員、広瀬委員にお願いしたいと存じますが、皆様、いかがでしょうか。

－ 拍手 －

小西課長：ありがとうございます。では、引き続き1年間よろしく願いいたします。それでは、これからの進行は、議長をお願いいたします。

永井議長：今回で7年目が終わりました。議長として、3年目が終わりました。社会教育委員として、何が出来るのかとずっと考えてやってきました。議会を通さないと出来ないこともありますし、教育委員会の範疇に踏み込んでしまうこともあります。社会教育委員として、難しい所です。この場で、各団体や組織の考え方として、各委員の意見を集約してもらうことが、一番大きなことかなというつもりでやっています。皆さんからの意見が出てくることは、いいことだと思います。皆さんの率直な意見を出していただいて、取り上げていければと思っています。私自身が社会教育委員になった時は、21人の委員がいて、月給制でした。それ

が、15人に、12人に減り、月給制から日給制になり、その額も減ってきました。文科省からの補助金も打ち止めになっているので、実際の話、国としても社会教育委員会は必要ないという認識なのかなと思います。要は、お金はもう出す必要ないということなのかなと思います。だけれども、議会や国会で決まったことだけじゃなく、貴重な意見というのはあるはずなので、あっていいのかなと思います。たとえば、指定管理ですが、メリット、デメリットがありますし、ちょうど、私が社会教育委員になった頃で、最初は何も分からないまま、議長の進行のまま通していきました。今振り返ってみると、いろんなことが浮かんできます。その時その時に、なぜそれが必要なのかという意見が、一委員から出てくる方が健全だと思います。そういう意見が出てきやすい、出しやすい社会教育委員会でありたいと思っています。どんどん率直な意見をお願いします。あと一年よろしくお願いします。副議長も挨拶をお願いします。

川上副議長：引き続き副議長をすることになりました川上です。2年1か月になります。それぞれの意見を出しながら、意見交換をしながら会議を進めていきたいと思っています。

広瀬副議長：1年間すべての回には出席できませんでしたが、吹田市の社会教育事業としてのさまざまな活動の広がりを勉強させていただいて、ようやくイメージがつかめてきました。市民の立場から、また学識経験者として、率直に気づいたこと、分からないことを出して行って、活性化を進めていきたいと思っています。

永井議長：それでは、会議を進めます。次第の3平成29年5月議会の結果について事務局より説明願います。

小西課長：5月議会につきまして、報告させていただきます。議案第55号、執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定についてですが、内容としましては、吹田市立留守家庭児童育成室運營業務委託事業者選定等委員会の設置についての条例改正で、原案可決されました。なお、文教市民常任委員会では、委託事業者の拡大や保護者の意見を反映する仕組みについてのご意見、ご要望をいただきました。議案第58号 平成29年度吹田市一般会計補正予算（第2号）中所管分につきましては、先ほどの委託事業者選定等委員会の委員報酬と、山手地区公民館建替え移転に伴う支障になる電柱移設工事にかかる負担金について予算計上したもので、原案可決されました。なお、常任委員会では、電柱移設費用における市の負担割合や公民館新築事業における地域住民との協議についてのご質問等をいただきました。議案第64号 平成29年度吹田市一般会計補正予算（第3号）中所管分につきましては、（仮称）健都ライブラリー整備事業に係る基本設計修正業務委託料の増額及び実施設計委託料の減額、併せて実施設計業務について平成30年度までの債務負担を行うもので、原案可決されました。なお、常任委員会では、（仮称）健都ライブラリーに設置する0系新幹線の保存方法や防犯上の対策についてのご意見、ご要望をいただきました。以上でございます。

永井議長：何か質問等ございませんか。ないようであれば次に、次第の4平成28年10月～平成29年3月実施後援事業一覧について、事務局より説明をお願いします。

小西課長：－ 資料説明 －

永井議長：何かご質問などございますか。増えた分で、何か新しい事業はありますか。

小西課長：珍しい事例では、原田繁明水彩画展実行委員会から後援申請をいただきました。元、学校の

先生で、先生時代から、インドに行かれており、インドでも個展をされています。日印文化協定60周年締結記念として、領事館からの推薦をいただいて、実施されました。

永井議長：吹田の先生ですか。

小西課長：はい。吹田の公立の学校の先生です。

永井議長：他に質問等はありませんか。なければ、次第の5その他について事務局から説明をお願いします。

小西課長：資料の順番に従って、それぞれの所管から説明させていただきます。

－ 市民ふれあい事業「夢と希望を広げる出会い」について報告 －

－ 生涯学習吹田市民大学特別講座「多様性で創る未来～LGBTを知っていますか～」について説明 －

西尾館長：－ 北摂地区7市3町広域利用について説明 －

－ 吹田市立図書館だより「すいぼんいんふおるまーていおー」について説明 －

－ パンフレット「もうよんだかな？ ‘17」「てくてく2017」について説明 －

坂原参事：－ 吹田市立博物館夏期展示「自然のふしぎをあそぼう」について説明 －

西田参事：－ 太陽の広場「まなび吹っち」について説明 －

杉本参事：－ 吹田市市政モニタリング調査報告書「ひきこもりについて」説明 －

植田代理：－ 7月、8月に実施する事業について説明 －

永井議長：何かご質問などございますか。モニタリングの件ですが、私は民生委員をしています、引きこもりの3.3%のところはどうアプローチするのかというのが、一番難しいところです。実際、私が知っているケースでも、行くと嫌がられます。相手のご家族は知られるのが恥ずかしいとかあきらめてしまっているとか、大きな部分であるので、なかなか思うようになりません。だからと言ってあきらめると、7年とか10年とか引きこもることになって、そこから這い上がれないようになっているのかと。だいたい1,600人から1,700人近くいるだろうから、私が知っている限りでも、800世帯くらいの中で3人くらい知っていますから、それくらいは間違いなくいるだろうと思います。実際はもっと多いですね。外は歩いているけれど、社会的には何もつながっていないという人がいるだろうから、そういう人にアプローチする、そういうために体育振興連絡協議会とか青少年指導委員会とがいろんな事業をしているけれど、そういう方と、引きこもりの方にマッチングする場所というのが、ほぼないに等しいので、そこをなんとか出来るものがあればいいのかなと思います。市の調査ですか。

杉本参事：吹田市の調査です。その1年前にも同じような調査を内閣府がしています。

永井議長：図書館から毎回いただいているのですが、ほとんど読んだことがないのです。

田中(勲)委員：「まなび吹っち」ですが、小学生の子を持つ親としてはありがたい。夏休みの宿題をなかなかしないので、ありがたいことなのですが、今回初めてで、うちは東佐井寺小学校区ですが、校区をまたいで子ども達だけでは行けないことになっています。保護者の責任でということですが、保護者が働いているとなかなか厳しいなと思います。今回実施してみて、盛況でいいなということであれば、出来ればちょっとずつでも校区を増やしていただいて、自分たちの校区で参加できる状況に持って行っていただければと思います。

川上副議長：小学校によっては、夏休みにそういうことをやっているのではないか。プールの日とかにやっている学校とかあると思う。

前田室長：学校の実施状況は、全部つかんでいるわけではありませんが、今回、居場所づくりということで、未来館はやっています。同じようにやっているクリエイティブセンターと二か所でやっていたらどうかと。役所の事業は、予算を伴うことが多いのですが、今回の事業は全然予算がなくて、今いる人材で出来るということなので、お試しでやってみようかと、どんな形でうまくいくのか分かりませんが、希望が多ければ、来年度はもう少し何か出来るかと思っています。

永井議長：他に何かございますか。博物館も行かないと、思っていますが。見学で連れて行っていただくのが一番いいと思うのですが。本日は、今年度1回目の会議になりますので、皆様から、何か一言いただけたらと思います。

橋本委員：今年で2年目になりますが、社会教育委員としてどのような活動に絞り込んでいったらいいのかと思っていますが、範囲が広いのでびっくりしています。博物館の内容を見ても、おもしろそうだなと興味をひかれるものがありますし、図書館の本の紹介を見ても、子育てをした時とは内容も変わってきているなど思いながら、幅が広い分、考えていくのが大変かなと思っています。

田中(勲)委員：3年目になり、なんとなく概要も見えてきて、これからちょっとでも力になればと思っています。

山本委員：今回で4期目、後2年で終了になります。

川上副議長：前回吹田青少年野外コンサートのチラシを配ってもらいましたが、6月5日、快晴で実施できました。中学校、高校、大学の20団体、857人の出演がありました。青少年指導委員も118人、司会も青少年3人をお願いしました。3,000人ぐらいの観客がありました。暑かったですが、熱中症になった方もおられず無事終了しました。

永井議長：9月7日に近畿地区社会教育研究大会が、京都で開催されます。メ切は今日までなので、参加される方がおられましたら、ぜひどうぞ。何度か参加して思うのは、いろいろな地域ごとに取り組みがあって、町とか村とかの話が多いので、吹田市という単位では真似がしにくいですが、いろいろ知るだけでも見聞を広げることになるかと思っています。また、よろしく願います。

広瀬副議長：先ほど発言すればよかったのですが、引きこもりの調査ですが、年齢別のデータですが、20歳未満は知らないとなっていますが、学校との連携の中で周知したいとのことでしたが、全体としてどういう相談機関があるのか分からないという回答をされた方が35.3%おられるということなので、一方で、解決できないのでは無いかと思われている方が47.1%。この中にどういう相談機関があって、何が出来るのかということが分からないので、解決できないと思っている方が含まれている可能性があるかなと思います。やはり、まずは知ってもらうことが大切だなと思うと、学校等、若年層への働きかけが、長期化を防ぐために必要なことなんだなということと、きっかけについて、就活がうまくいかなかった、職場がなじめなかったとは別に、人間関係がうまくいかなかったというのがあるのですが、これも単純回答とあるので、どう見たらいいのかと分からないところがあるのですが、学校関係、不登

校というのがありますが、項目をもう少し工夫した方が、原因、理由というのがもう少し明確になるのかなと思います。職場になじめないといったときに、職場の人間関係の話なのか、職務内容になじめなかったのか、適正ということだったのか、職務能力だったのかよく分からないが、なじめないというなかにいろいろ入っているような気がするので、そこらあたりが区別できる項目をとった方が、どういう対応が有効なのか考えるに資するデータかなと思って、分かると言えば分るのですが、それぞれ答えている中にクロスしているものが入っているのではと思いました。学校と職場と家庭というのがあるのかもしれませんが、人間関係と仕事の部分、学校での友人関とか、先生との関係とかいろいろあるのかもしれませんが、そこらへんが引きこもりのきっかけになっているのかと思います。高齢者の場合は、病気、障がい等が多いということでしたが、若年層を考えた場合、人間関係のトレーニングとかもいいと思うので、今後同様な調査をされる機会があるのであれば、調査票の設計を少し考えていただいたら、よりいいのかなと思いました。

後藤委員：博物館が近いので、年に一度博物館から依頼があります。何かつくって欲しいという依頼があり、たまたま「自然のふしぎを遊ぼう」で、蜘蛛の巣をつくろうというので、裏面にありますが、ミトンで昆虫をやって下さいという依頼を受けまして、公民館にあるリフォーム同好会に頼んで、虫を、ミトンに虫をつけて、博物館に飾っています。議長の進行が素晴らしいので、なかなかしゃべる機会がないのですが、今回機会を与えていただきありがとうございます。

武藤委員：3年目になりますが、何が出来るのか分からない状態なのですが、ここに来させていただいて、いろいろ皆様のお話を聞かせていただいて、勉強になることばかりで、良かったと思っています。この4月は、年度替わりで、いろいろなところに毎回毎回手書きの名簿を出さないといけなくて、それがつらいので、社会教育団体として一度登録すれば、全てフリーパスに出来ないのかと思っています。吹田市への希望です。

田中(万)委員：初めて会議に出させていただいて、どんな方々がメンバーかなということで、不安な気持ちでしたが、田中(勲)さんも山本さんも後藤さんもおられ、本校の校区にお住まいの方が3人もおられるということで心強く思っています。博物館から案内がありましたが、7月22日吹奏楽コンサートに、本校の吹奏楽部が参加させていただきます。野外コンサートも出席させていただきました。こういうかたちでのクラブ活動を推進していくということで、地域にどんどん出て行って、子ども達の活動の場を提供していただくというのが非常に喜ばしいことなので、校長としても参加させていただけるよう指導していきたいと思っています。こういった取り組みを、市の方がどんどんされているということを理解させていただきました。校長会で地域活動を伝えていきたいと思っています。

木戸部長：本日は、夏休みが近いということで、子どもを中心に、子どもを対象とした行事の紹介が多かったのかと思っています。これ以外にも、まだまだ、大人を対象としたものとか、各公民館でもいろいろな講座や行事をやっていただいているので、全てをご披露するとすごい数になってくるかと思っています。そういう中で、社会教育委員さんとして参加して頂いていますので、この場で、こんなことが出来ないのかな、あんなことも出来るのではといったアイデアを皆さんお持ちだと思いますので、提案して頂ければと思っています。今日もいろいろ行事を紹

介させていただきましたが、皆さんお忙しい方なので、見に行くことはなかなか出来ないと
思いますが、夢と希望を広げる出会い事業で、今回、吹田サッカースタジアムに行きました。
なかなかピッチの上に立つというのは出来ませんので、来年実施の時に、もしご都合が合え
ば、来ていただければ、ピッチに立ってます。普通は立たせてもらえないです。なかなかそう
いう機会はありません。芝に触らせてもらいましたが、公園の芝と比べるととても柔らかい
芝で、違うのだと分かります。クリエイティブセンターのかけっこ教室は、職員が指導しま
す。本日は欠席していますが、尾高館長です。短距離については、本物です。走り方を見ただ
けで、どこを変えれば走れるようになるかすぐ分かるということなので、そういう場面も
見ていただければと思います。

小西課長：次回ですが、日程はまだ決まっておりません。昨年度、学童保育と太陽の広場、図書館、青
少年施設の見学をしていただきました。今年度も、博物館と文化財ということで、旧西尾家、
旧中西家の見学会を、次回かその次くらいで実施させていただきたいと思います。日程につ
いては、早々に調整の上連絡させていただきます。

永井議長：ありがとうございます。それでは、6月の社会教育委員会議を閉会させていただきます。
皆様お疲れ様でした。